

生中通信

平成29年3月13日(月)卒業をまえに・・・
生駒市立生駒中学校 文責 校長 藤原康成

「口蓋垂」自分の知らないところで人は支えられ、生かされています。

卒業おめでとう これからが 本番 こしぼねを立てて 自分らしく

たくさんの愛情を受けて、育んだ15年間、三年生のみなさん「卒業おめでとう」たくましく成長したその姿、人への思いやりや優しさを持った心、全てがこれから迎えようとする、「満開の桜」のように観えてなりません。みなさんとの出逢いは、昨年4月、温かい雰囲気からエネルギーで愉快で安心感を与える集団へとその印象はドンドン変化していきました。このエネルギーを新たな環境の中で、自分らしく自信を持って輝いてください。卒業まであと2日、「最高の一日」を創り上げる準備をしておいてくださいね。楽しみにしています。

【保護者のみなさまへ】卒業を目の前にして……

わが子を目の前
くせない思い出、喜
ことでしょう。誕生ま
かえたその瞬間は、
に感じておられるこ
5年。「生まれて数
顔で微笑んでいるよ
「目が会って、じっ
いたときこと」「寝返



に、ことばでは語り尽
びやご苦労があった
での日々、誕生を向
今もついこの間のよう
とでしょう。あれから1
時間後というのに、笑
うに見えたときのこと
と、わたしを見つめて
りをした・ハイハイでき

た・一人で立てたときこと」「はじめて歩いたときこと」家族みんなで喜んだり、大笑いしたり、そして、「何よりも健康を一番に願いつづけたこと」

15年間大切に愛情いっぱい育てていただいたお子様をお預かりして3年が経ちました。いろいろなことも多くご心配をおかけしたこと、振り返ると子どもたちに助けられ、支えられたのは私たち大人の方だったかも知れません。子どもたちと共に成長し続けた3年間でもありました。

いつも、本当に温かく、ご支援・ご協力いただきました。保護者の皆様に心より感謝申し上げます。
本当にありがとうございました。

自分は 自分の 主人公

世界でただ一人の 自分を創っていく 責任者

尊いもの 美しいもの 善なるもの

みんな 謙虚な人の ところに集まり その人のものとなる

東井義雄

